

**質問** 免許を手放しても暮らし続けられる環境整備を

**町長** 令和3年5月までに、新たな地域公共交通を整備する

なせ現在の地域公共交通を利用しないのかなど多くの声を聞きながら実態把握を細かく行い、町民にとってより利便性の高い交通体制の整備に努めていく。

**再々質問**

二一ズ把握には、交通の問題だけでなく、返納後の高齢者の生活課題も細かく調査し、福祉との連携も必要。町民でつくりあげる地域公共交通になるよう、多くの方の意見を反映していくべきでは。

**再々質問**

住民代表や事業者代表が参画する地域公共交通活性化協議会での二一ズ把握とともに、福祉バス、スクールバスなどともどうあるべきかを検討する。まちづくり懇談会などでも町民の意見を聞き、今以上の利便性の向上を図りたい。

**再々質問**

地域公共交通の見直しに際し、町政執行方針では「町民二一ズの把握」を行うところがあるが、どのように行うのか。

**再々質問**

滝川警察署と連携した高齢者向けの交通安全教室を開催することにより、免許自主返納を促すとともに、地域公共交通の案内を継続して実施する。返納後も安心して移動できるよう、令和3年5月に供用開始する役場新庁舎を拠点とした新たな地域公共交通の整備を進める。

**再々質問**

許自主返納を促進する具体的な取組みと返納後も安心して暮らせるための環境整備は。



小玉議員

**質問**

近年、高齢者による交通事故が多発している。今後高齢化が一層進む中、運転免許

**質問** 補聴器の補助対象者枠の拡大を

**町長** 総合的な認知症の予防を展開する

アンケート調査については、今現在行う予定はない。

**再々質問**

高齢者の体の不調等を知るうえでアンケート調査を行うのはどうか。

補聴器の更なる普及により、高齢者になっても生活の質を落とさず、心身も健やかな生活を過ごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考える。

**再々質問**

これからのことから、認知症予防の一部である、聴力低下に対する支援に特化した補聴器の補助対象者枠の拡大は考えていないが、高齢者に社会参加を促し、孤立しないようにする対策を行い、総合的な認知症の予防を進めていく。

**再々質問**

認知症予防対策として、一般介護予防事業の中で「すまいるあつぷ事業」を拡大し、今年から全行政区を対象に実施している。理学療法士による専門的な相談指導も取り入れて行っている。

**再々質問**

本町でも高齢者福祉の充実に向けて取り組んでいることから認知症の予防対策を目的とした補聴器の補助対象者枠の拡大を考えてみては。

**再々質問**

国際アルツハイマー病会議でランセツト国際委員会は、認知症の9つの原因の中で難聴が最大の危険因子であると発表している。

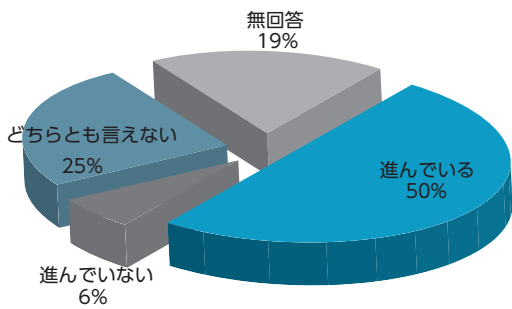


進藤議員

**質問**

近年、高齢者難聴を患っている方が多くいると聞いています。

**第2回定例会傍聴者アンケート結果（抜粋）**  
傍聴者20人中16人の方々にアンケートの回答をいただきました。（回答率80%）



**傍聴者の声**

・住みやすいまちづくりにして頂きたい。  
・議員は住民の代表であり、その人格を信頼して選んでいるのに、議場では番号で呼ばれていることに驚いた。囚人と同じ扱い？  
・身近な問題で理解できて良かった。  
・等々多くのご意見をいただきました。また、  
Q 開かれた議会に向け、議会改革の取組みは進んでいると思いますか？  
という質問に対しては

アンケートへのご協力をありがとうございました。

という結果となりました。  
議会の見える化は、まだまだ道半ば。チーム議会としてこれからも取り組んでいきます。